

留学だより Vol. 1



皆さん、こんにちは。14期生の尾形です。今、ニュージーランドで留学しています。国旗を見てオーストラリア?と思った方もいるとは思いますが、違います。私も全く違いが分からず、留学だよりを書くに当たって調べました。このデザイン、実はニュージーランドの方が先だったそうです。

出発しました。

1/25に成田空港から旅立ちました。前日まで学校に行き、部活動に出て、25日も学校に行こうとしていたのですが、さすがにそれは諦めました。旅立ちと言えばお見送りだとは思いますが、集合時間が早く、また成田空港だったので、母親だけに見送られて出発するものだと思っていました。しかし、友人たちが特急に乗ってわざわざ来てくれました。とてもうれしかったです。空港では全く実感がなく、涙を流す友人に、たった10か月だよ〜と軽い気持ちで語りかけていました。因みに、今は「たった」10か月、とは思っていません。もうすでに3週間が経過していて時の流れは早いものだと実感していますが、帰国はまだ先の話です。

飛行機は狭かったです。物心がついて初めての飛行機でした。機内泊は隣の友人の膝を枕にして寝ていたのですが、ぐっすり眠ることができました。寝心地に全く問題はなかったです。因みに、友人は足が痛すぎて深夜に「いててててててててててて」とインスタグラムに投稿していました。ごめんなさい。ニュージーランドと東京は4時間の時差(今はサマータイムなので通常時は3時間)なのですが、機内泊で朝日とともに目覚めたことで時差ぼけはなかったです。到着して学校が始まるまでは深夜2時に寝て、朝10時頃に起きるといふ、日本時間にするとかかなり規則正しい生活を送っていました。日本時間では規則正しい生活ということは時差に慣れてはいなかったのかもしれませんが。気になっていた機内食も、美味しかったです。牛と鳥、選ばれたのはbeefでした。まさか飛行機の中で牛乳が飲めると思ってなかったので感動しました。美味しかったです。



↑左側が最後の晚餐。中央は機内食のbeef。右側はアイスクリーム。

ニュージーランドについた時も実感はなかったです。ニュージーランドの税関が厳しいのを列に並んでいるときに知り、焦りました。しかし、集団で審査を受けたのでわりと簡単に入国することができました。因みに、ブタメンを持ってきていた友人はNGを出されて泣く泣くゴミ箱に捨てていました。カップ麺に固形肉が含まれているため持ち込めなかったようです。

上陸しました。

さて、無事ニュージーランドに入国することができました。初日は若干曇っていていい天気とは言えませんでした。しかし、この後、天気はどんどん悪くなっていくので、素晴らしい天気だったと言えるでしょう。バスに乗って次世代のオリエンテーション会場に向かいました。大学寮でした。とりあえずシャワーを浴びたかったのですがまず牧場に立ち寄り、羊とご対面。写真撮影をし、その後、会場についてはすぐにオリエンテーションが始まってしまったので、シャワーを浴びることができたのは午後9時頃でした。オリエンテーションは実際にニュージーランドに留学、生活している方たちと英語で話してこれからに向けての確認のようなことをしました。例えば、この留学を通して成し遂げたいこと、どうすれば達成できるか、などです。そのあとの夕飯では日本語で楽しく談笑しました。現地の男の子が福岡弁を話していてとても驚きました。

その晩のことです。なぜかWi-Fiが繋がらなくなり、携帯電話のモバイル通信がまだ使えなかった私は非常に暇でした。友人からもらったアルバムを見ていたのですが、急に実感が湧いてきてどうしようもなく悲しくなってしまったので、心を落ち着かせるために速単とFocus goldで勉強しました。楽しかったです。今もfocus goldは暇なときに少しずつ進めているのですが、白い解答編を日本に置いてきてしまったもので例題しかできず、演習をしたいという欲求に駆られています。今度、日本から送ってもらおうと思います。これから長期で留学に行こうと考えている方は是非とも解答編も忘れずに持って行ってください。

次の日は、朝8時から朝食、9時からオリエンテーションという予定だったのですが、ドアがたたかれる音とともに起床したのは8時15分。寝坊です。幸い食事時間が1時間と長く取られていたため、事なきを得ました。初日から幸先の悪いスタートです。オリエンテーションに参加し、お昼を食べた後はいよいよ各ホームステイ先に向かいます。Aucklandの大学寮に泊まっていたので、Hamilton近郊の私と数名はバス、WellingtonやNapier、Whanganuiに向かう人たちは国際便に乗る予定でした。私たちバス組は問題なくホストファミリー宅に到着できたのですが、国際便で行く予定の子たちは大雨の影響で空港が浸水してしまい、その日は空港で朝を迎え、翌日7時間程かけてバスで向かったそうです。私はとてもラッキーだったと思います。この後も雨が降り続けていたので、初日の天気は本当に良かったと言えると思います。

↓左側がニュージーランド空港。中央と右側が大学寮でのご飯。



ちなみに大学寮でのご飯は量がとてつもなく多かったです。味噌汁も量が多かったです。ただ昼と夜の間隔が狭かったのもそう感じたのだと思っていましたが、もしかしたら食欲不振は長旅による疲れだったかもしれません。

生活しています。

まず、私のホストファミリーに関して、父、母、兄、妹がいます。因みに、会うまで兄ではなく弟だと思っていました。皆が受け入れてくれて、とてもあたたかい家庭の一員としてこれから過ごすことができると思うと嬉しく思います。ホストファミリーの特色ですが、ホストマザーが動物好きで、犬、猫、鳥、ウサギなどの一般的な動物だけでなくアルパカも飼っています。日本でホストファミリーの情報をもらった時にニュージーランドだとこんなこともあるのだなと思っていましたが、どうやらアルパカを飼っていることは相当、珍しいようです。ただ、アルパカは見かけないにしても、犬の散歩で歩いていると牛、羊、ヤギを普通に見かけるので、やはりここはニュージーランドですね。「犬の散歩」で近くの山で2時間ほど散歩するくらい自然が近いです。また、ホストファミリーはマウンテンバイク、ハイキング(こちらではトランピングといいます)が好きで、週末には色々なところに連れて行ってくれます。大体、片道2時間以上かかり、車中で寝ていても背もたれが90度なので



とても寝づらいです。それでも、最近は慣れてきて、ぐっすりと寝られるようになりました。慣れてすごいですね。

左の写真の右側にようにマウンテンバイクを乗せて色々な山まで向かいます。ホストファミリーとブラザーが山を駆け回って

いる中、ホストシスターとマザーと私はハイキングをしています。いつかマウンテンバイクの方にも参加してみたいです。

慣れ、といえば、こちらは(たぶんどこの家も、屋外も)ハエが多くて、初め来たときは、虫が嫌いなものでそれはもう過剰に反応していました。しかし、今は過剰な反応がむしろ、ハエを突き動かす原動力になってしまっていると気づき、たとえ肩にとまれようが静かな心で払うことができます。一匹一匹の個体差までわかるようになりました。個体ごとに模様や飛び方の癖が異なっています、これは日本にいたらわからないことだったと思います。ハエが多いのには理由があって、海外では家の中で靴を脱がないということを知ったことはあると思うのですが、一言でいうと家の中と外での境界線が薄く、結構窓は全開(網戸なんてものは存在しません)、まあドアも全開、そりゃ虫も迷い込みます。

日本と違うところといえば、お風呂と洗濯です。お風呂に関しては浴槽に水をためないのでシャワーだけなのですが、毎日、浴びることができます。ニュージーランドにいる他の次世代研修生も、私が聞いた限りでは毎日シャワーを浴びているようです。と、このようにあまりお風呂に関しては困っていませんが、日本に帰ったら真っ先に温泉巡りをしようと思います。洗濯は日本のように毎日するというのではなく、週末などにまとめてしています。家庭により異なると思うのですが、私のステイ先は洗濯物が溜まって洗いたいなと思ったら、洗濯機を使用できます。もちろん使う前に確認し、自分で干すまでがセットなのですが、週末まで待たなければいけないという家族ルールがないのは良かったです。ベッドのシーツは1、2週間に1回取り換えて洗濯をします。初めに部屋を見せてもらった時、ベッドが大きくて洗濯が大変なのではと思いましたが、アップパーシーツとベースシーツだけ洗えば良いので、そこまで大変ではなかったです。広いベッドも初めは寂しかったのですが、今は全面使用して快眠です。またオーストラリアやニュージーランドでは食器を洗った後、洗剤を洗い流さない、という話もありますが家庭によります。本当にその通りの家庭もありますし、私のステイ先ではほぼ食洗器を使用し、使わないときも洗剤は洗い流しています。友人の家庭は洗い流さない方式だったようです。

牛乳事情をお伝えします。よく海外の牛乳は薄いだとか、そもそも牛じゃなくてヤギだとか、いろいろ不安に思うようなことを聞くとありますが、結論から言うと、とても美味し



いです。スーパーにはたくさん牛乳が売っており(家で飲むようなものは大体3リットル)、容器は半透明なもので日本のように牛や牧場のイラストが描かれているということはありません。蓋の色が緑、青、と

いった具合で異なっているのですが、実はこれが濃さを表していて、私のステイ先では一番濃い青を購入しているので薄いと感じなかったのだと思います。日本でいうコンビニを dairy と呼んでいて、そこに小さいパックの牛乳が売っているのですが、驚いたことに普通の味はなく、イチゴ牛乳、チョコレート牛乳、バナナ牛乳などがあります。お気に入りのものは右の写真のものです。\$ 2で、日本円にすると180~190円、200円いかないくらいなので日本のものとあまり値段は変わらないと思います。因みに、market という地域のお祭りのようなときにはスーパーに行ったら\$ 1で売っていました。安いです。学生の私にはありがたいです。最も懸念していた牛乳は全く問題なく、むしろ牛乳に囲まれた生活を送れています。幸せです。



追記です。

これを書いている今、まだ1ヶ月は経っていないのですが、これまでに気づいたこと、感じたことを書こうと思います。留学に行く前、初めの1ヶ月がとてつもなく辛い、という話を聞きました。留学情報を発信している方のSNSを拝見しても、同じようなことが書かれているのを見受けます。さて、本当に辛くて帰国を心待ちにしてしまうのか。正直、全く寂しい気持ちがないかと言ったら嘘になりますが、今の私の頭の中は蚊に刺された部分が痒い（本当に痒いです。ありえないくらい刺されています。気づいたら足から血を垂れ流しながらバスケットをしていました。ただの蚊なのか、sandfly という刺されると尋常じゃない腫れ方をしてしまう虫なのか、まったくわかりませんが、とりあえず、今度スーパーで虫よけを買おうと思います。）というのが大部分を占めていて、あまりよくわかりません。ただこれだけは言えるのが、ここに来る前よりは家族、友達の大切さに気付けたということです。自分の価値観が変わっていくことを感じられてとても刺激的で幸せです。

それ以外に、細かいことでいうと、朝露で芝生を歩く時に靴が濡れます。学校が校庭を含めほぼ芝生なのですが、朝は山の近くなものでひよっとしたら靴下まで染みるんじゃないかというレベルで草が濡れています。まるで、キャンプに行った日の朝のようです。学校に関する



ことは次回の留学日より書こうと思いますが、町に関する事で、私の住んでいる Te Aroha は Hamilton 「近郊」ということもあり都市から離れた場所にあります。因みに、まだ Hamilton には行ったことがありません。今週の土曜日に行くことができるので、楽しみです。次回は Hamilton につ

いても書きます。Te Aroha は都会ではなく、歩行者用の信号機也没有。ニュージーランドに来てから他の都市にも行きましたが、歩行者用の信号機を見たのは1回だけです。上記の写真のように秒数が表示され、15秒からカウントダウンされます。

ここまで読んで頂きありがとうございました。留学だよりを書くのも楽しかったです。ではまた1ヶ月後の留学だよりも楽しみに！

14期 尾形